



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マルエツ

コード番号 8178 URL <http://www.maruettsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上田 真

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部長

(氏名) 渡辺 俊夫

TEL 03-3590-0016

四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	83,822	6.2	1,144	297.3	1,050	206.4	659	93.4
26年2月期第1四半期	78,894	1.9	288	△68.4	342	△60.9	341	△30.5

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 560百万円 (33.7%) 26年2月期第1四半期 419百万円 (△14.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	5.26	5.24
26年2月期第1四半期	2.73	2.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	136,268	63,581	46.1
26年2月期	131,153	63,397	47.7

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 62,792百万円 26年2月期 62,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	166,800	3.2	1,300	29.8	1,180	△10.0	210	△72.6	1.68
通期	333,700	2.4	3,000	9.0	2,750	△9.5	850	2.7	6.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	128,894,833 株	26年2月期	128,894,833 株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	3,565,300 株	26年2月期	3,650,655 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	125,264,757 株	26年2月期1Q	125,030,466 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料発表日現在における事業環境に基づくものであり、今後様々な要因によって、上記予想と実際の業績が異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策の効果等により、企業収益の改善や設備投資の増加等、景気動向は緩やかに回復しつつあるものの、一方で消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や海外景気の下振れの懸念等もあり、依然として予断を許さない状況が続いています。

小売業界では、消費者物価の緩やかな上昇によりデフレ状況は解消しつつあるものの、業態を超えた競争に採用難や賃金コストの上昇等も加わり、引き続き厳しい経営環境となっています。

このような状況のなか各施策に取り組みました結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は838億22百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は11億44百万円(前年同期比297.3%増)、経常利益は10億50百万円(前年同期比206.4%増)、四半期純利益は6億59百万円(前年同期比93.4%増)となりました。

なお、5月19日に、当社、株式会社カスミ、イオン株式会社、丸紅株式会社の4社は、当社及び株式会社カスミ、イオン株式会社の連結子会社のマックスバリュ関東株式会社による、「首都圏におけるスーパーマーケット連合」の創設について、具体的な検討を開始することで合意しました。

セグメント別の業績は、下記のとおりです。

《小売事業》

小売事業につきましては、「『変革』への挑戦の年」を基本テーマに、「競争力の向上」「生産性の向上」「マネジメントと実現力の向上」に取り組みました。

「競争力の向上」につきましては、ベーシック商品の強い単品作りや、生産体制の充実を図るための人員の再配置により、デリカ部門の強化に努めました。

プライベートブランド「maruetsu365」では、女性の意見を積極的に取り入れたアイスクリーム「Premo(プレモ)」等、お客様の潜在ニーズに対応する商品の開発を進めました。

さらに、店舗エリア編成を店舗規模タイプ別に見直すとともに、各規模タイプ別に最適な商売の実現とローコスト運営を図りました。

その一環として、4月から全店共通だった販促チラシについてオペレーションの異なる小型店を分離しました。

「Tカード」の活用につきましては、お客様の購買行動分析に基づく関連販売の提案や商圏の見直しを行うとともに、特定商品にポイントを付与する「商品ボーナスポイント」等の販促施策を継続実施し、効果の最大化を図っています。

「生産性の向上」につきましては、ワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、自社の精肉・鮮魚の加工センターの有効活用をさらに進めるなど、店舗作業の軽減と人的効率の向上に取り組みました。

「マネジメントと実現力の向上」につきましては、店舗損益の構造的な改革を推進するため、組織横断的な店舗損益改善プロジェクトを立ち上げ、スペース生産性や人的指標の改善等に取り組んでいます。

また、パートナーの潜在能力最大化のための実務教育とサポート体制を構築し、人材育成と教育訓練の強化に努めました。

中国事業につきましては、6月29日に2号店としてリンコス無錫海岸城店を、1号店と同じ江蘇省無錫市内にオープンしました。

新店は、マルエツ屋号店舗として神奈川県に磯子店、平間店を、マルエツ プチ屋号店舗として東京都に北品川一丁目店、品川橋店の合計4店舗を新設しました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は272店舗となりました。

また、既存店の活性化を図るための改装を3店舗で実施しました。

これらの結果、小売事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は829億33百万円(前年同期比6.3%増)、セグメント利益(営業利益)は9億75百万円(前年同期比679.5%増)となりました。

《不動産事業》

不動産事業につきましては、不動産賃貸及び駐車場管理の効率的運営に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は8億81百万円(前年同期比2.2%減)、セグメント利益(営業利益)は1億55百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

《その他》

その他につきましては、業務受託事業、人材派遣事業、品質管理及び商品検査事業等で構成されており、当第1四半期連結累計期間の営業収益は8百万円(前年同期比18.4%減)、セグメント利益(営業利益)は12百万円(前年同期比74.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ51億15百万円増加し1,362億68百万となりました。主に現金及び預金の増加によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ49億31百万円増加し726億87百万円となりました。主に買掛金の増加によるものです。

なお、有利子負債は、前連結会計年度末に比べ3億4百万円減少し305億7百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億83百万円増加し635億81百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点では平成26年4月11日に公表した数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,693	19,322
売掛金	2,142	2,870
商品	8,863	9,090
貯蔵品	54	53
繰延税金資産	558	610
その他	6,563	6,153
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	32,876	38,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,239	34,481
土地	26,842	26,839
その他（純額）	6,291	6,352
有形固定資産合計	67,373	67,673
無形固定資産	3,212	3,150
投資その他の資産		
投資有価証券	81	81
差入保証金	24,641	24,448
繰延税金資産	2,771	2,637
その他	450	434
貸倒引当金	△255	△255
投資その他の資産合計	27,690	27,345
固定資産合計	98,277	98,169
資産合計	131,153	136,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,679	21,446
1年内返済予定の長期借入金	2,634	2,584
未払法人税等	441	429
賞与引当金	—	777
株主優待引当金	124	109
商品券引換引当金	1	—
その他	8,273	10,129
流動負債合計	30,154	35,476
固定負債		
長期借入金	27,218	27,018
退職給付引当金	2,426	2,395
転貸損失引当金	271	236
資産除去債務	1,284	1,285
長期預り保証金	4,660	4,642
その他	1,741	1,633
固定負債合計	37,600	37,210
負債合計	67,755	72,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,549	37,549
資本剰余金	9,776	9,776
利益剰余金	16,832	17,099
自己株式	△1,805	△1,763
株主資本合計	62,352	62,662
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	176	130
その他の包括利益累計額合計	176	130
新株予約権	146	119
少数株主持分	723	670
純資産合計	63,397	63,581
負債純資産合計	131,153	136,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
売上高	77,243	82,152
売上原価	54,337	58,171
売上総利益	22,905	23,980
営業収入	1,650	1,670
営業総利益	24,556	25,651
販売費及び一般管理費	24,268	24,507
営業利益	288	1,144
営業外収益		
受取利息	12	10
補助金収入	12	5
雑収入	132	3
営業外収益合計	157	19
営業外費用		
支払利息	72	66
固定資産除却損	20	7
雑損失	10	39
営業外費用合計	102	113
経常利益	342	1,050
税金等調整前四半期純利益	342	1,050
法人税、住民税及び事業税	93	341
法人税等還付税額	△129	—
法人税等調整額	49	82
法人税等合計	13	424
少数株主損益調整前四半期純利益	329	626
少数株主損失(△)	△11	△33
四半期純利益	341	659

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	329	626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	—
為替換算調整勘定	91	△65
その他の包括利益合計	89	△65
四半期包括利益	419	560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	403	613
少数株主に係る四半期包括利益	15	△53

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売事業	不動産事業	計				
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	77,982	901	78,884	10	78,894	—	78,894
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	56	123	180	482	662	△662	—
計	78,039	1,025	79,064	492	79,557	△662	78,894
セグメント利益	125	155	280	7	288	—	288

(注)1 「その他」の区分には、業務受託事業、人材派遣事業、品質管理及び商品検査事業等を含んでいます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売事業	不動産事業	計				
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	82,933	881	83,814	8	83,822	—	83,822
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	64	123	188	455	644	△644	—
計	82,997	1,005	84,003	464	84,467	△644	83,822
セグメント利益	975	155	1,131	12	1,144	—	1,144

(注)1 「その他」の区分には、業務受託事業、人材派遣事業、品質管理及び商品検査事業等を含んでいます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。